

教育研究業績書

所属	職名	氏名
文化言語学部	准教授	北口英穂

I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年月日	概要
(1)教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) ①コミュニケーションカードの活用	平成20年～現在	授業はじめにコミュニケーションカードを配布し、授業に対するコメント、質問等を書かせ、終了時に回収し、次回回答することでフィードバックする。
②課題探究、課題解決型PBL、サービスラーニング授業の実施	平成25年～現在	初年時から年次に応じたプロジェクトを用意することで、段階的にPBL形式を行い、ステップアップすることができた。
③情報処理室での中国語授業の実施	平成25年～現在	情報処理室で授業を実施し、インターネット上の中国語資源(ネットラジオ、テレビ、学習サイト等)を紹介しながら授業を行った。中国語を身近に感じ、普段から中国語に触れる工夫を紹介した。
④2年次中国語の授業での復習の工夫	平成26年～現在	毎日課外で中国語で思考させる工夫として、中国語で日記をつけることを課題として与えた。毎回それをチェックし、誤用等については全員で共有することで、文章表現の向上、中国語での思考につながった。
(2)作成した教科書・教材・参考書 特記事項なし		
(3)教育方法・教育実践に関する発表、講演等 特記事項なし		
(4)その他教育活動上特記すべき事項 特記事項なし		

II 研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻、号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
(著書)					
なし					
(論文)					
『戦犯引渡しをめぐって～中国国民政府の場合』	単	平成13年3月	愛知大学大学院紀要『愛知論叢』71号		65～78ページ
『被侵略国による対日戦争犯罪裁判—国民政府が行った戦犯裁判の特』	単	平成13年11月	『中国研究月報』645号		17～31ページ

「中国国民政府による対日戦犯裁判の問題点—内田元陸軍中將の裁判を中心に—」	単	平成14年10月	『現代中国』76号		159～168ページ
「国民政府による対日戦犯裁判の終結と日華平和条約」	単	平成15年3月	愛知大学大学院紀要『愛知論叢』74号		33～47ページ
「戦犯と漢奸のはざままで—中国国民政府による対日戦犯裁判で裁かれた台湾人」	単	平成15年11月	『アジア研究』49巻4号		74～82ページ
「裁かれた日本軍捕虜収容所—済南捕虜収容所」	単	平成16年12月	愛知大学国際問題研究所紀要『国際問題研究所紀要』124号		183～198ページ
「国民政府の対日戦後処理方針の実際～戦犯問題と賠償問題」	単	平成18年3月	愛知大学国際中国学研究中心『若手研究者報告論集』第1号		123～133ページ
「戦後台湾にみる「中国文化」に関する一考察～国民党の文化施策「中華文化復興運動」における博物館の動向と文化意識の変容を中心に～」	単	平成19年3月	『尚綱学園紀要 人文・社会科学編』第1号		53～63ページ
「漢奸裁判の実際—山東・上海法廷に関する裁判資料をもとに—」	単	平成20年11月	『近きに在りて』56号		117～126ページ
「台湾における戦後処理の問題点～台湾人処理方法と東港鳳山事件をめぐって～」	単	平成22年3月	『尚綱学園研究紀要 A.人文・社会科学編』第5号		59～71ページ
「国民政府 审判什么?—战后日中关系的开始—」	単	平成24年3月	王晓秋・徐勇編『中日文化交流二千年:回顧与展望』(社会科学文献出版社(北京))所収		344～351ページ
「裁かれた憲兵～中国国民政府の戦犯裁判を中心に～」	単	平成26年3月	『尚綱大学研究紀要第46号』		43～57ページ
「日本統治時代熊本から台湾への移民について」	単	平成28年3月	『尚綱大学研究紀要』第48号		1～12ページ
「棄てられた台湾人～台湾人兵士・戦犯の釈放と補償請求をめぐって」	単	平成29年2月	『中国21』vol.45		107～126ページ
(その他)					
<学会発表>					
「国民政府による対日戦犯裁判についての一考察」	単	平成13年3月10日	日本現代中国学会春季研究会於大阪市立大学		
「旧日本軍憲兵は「中国法廷」でどのように裁かれたのか—済南、北京憲兵隊および北支那特別警備隊を中心に—」	単	平成17年10月22日	日本現代中国学会全国学術大会於愛知大学		
「裁判資料から見る「中国法廷」—裁判の実際と史料紹介—」	単	平成17年11月26日	東アジア国際政治史研究会 於中央大学		
「戦犯処理に見る国民政府の対日戦後処理方針とその実際」	単	平成17年12月17日	中国現代史研究会東海地区特別例会於愛知学院大学		
「「漢奸」「戦犯」そして「文革」～時代に翻弄された台湾人音楽家江文也について」	単	平成19年1月13日	熊本国語国文学会於尚綱大学		

「中国における戦後処理の一考察～「漢奸裁判」をめぐる「漢奸」の定義と実態」	単	平成19年7月28日	九州歴史科学研究会於西南学院大学		
「台湾の戦犯と漢奸」	単	平成20年1月11日、12日	広島大学大学院社会科学研究科・政治学台湾政治史研究所共催日台国際学術交流ワークショップ「国際人権保障体制確立への国際法的歴史的アプローチ」於広島大学		
「「漢奸裁判」では何が裁かれたのか～「漢奸」の定義と上海法廷における「普通漢奸」の判決結果を中心に」	単	平成20年11月29日	熊本学園大学東アジア社会文化研究会於熊本学園大学		
「「戦犯」と「漢奸」～中国国民政府による二つの戦後処理について」	単	平成22年2月14日	福岡大学歴史学科東洋史研究会於福岡大学		
「被審判的台湾人の海外活動」	単	平成22年9月17日	中央研究院台湾史研究所ワークショップ「台湾人の海外活動」於中央研究院(台北)		
「台湾人の戦後処理～「戦犯」と「漢奸」を中心」	単	平成22年12月12日	平成22年度九州史学会大会於九州大学		
「国民政府 审判什么？～戦后日中关系的开始～」	単	平成22年12月17日～20日	北京市中日文化交流史研究会国際シンポジウム「中日文化交流二千年:回顧与展望」於北京大学		
「被審判的臺灣人一以戦犯和漢奸為中心」	単	平成23年8月25日、26日	中央研究院台湾史研究所国際シンポジウム「台湾人の海外活動」於中央研究院(台北)		
「「祖国」と「母国」のはざまで～戦後台湾人の「身分」について」	単	平成24年9月6日、7日	国際ワークショップ「台湾人戦犯の研究」於尚綱大学		
「台湾の戦後処理における責任追及について」	単	平成25年7月14日	第44回東洋史学研究会於福岡大学		
「台湾的戦後處理～以戦犯、漢奸、殖民責任為視角」	単	平成25年12月20日、21日	国際シンポジウム「国際戦犯審判中的台籍戦犯」於中正大学(台湾嘉義)		
「日本統治時代誰が台湾に渡ったのか～熊本を中心に」	単	平成27年5月3日	国際シンポジウム「2015東方文化學術研討會——五四精神在東亞的發展與變遷暨跨文化研究」於慈濟大学(台湾花蓮)		
「台湾の戦後処理における日本人、台湾人、台湾華僑」	単	平成28年6月18日	日本現代中国学会西日本部会研究集会於西南学院大学		

Ⅲ 学会等及び社会における主な活動

科学研究費補助金受領状況	
平成19年～20年度	若手研究B「中国における戦後処理の再考察～戦犯裁判と漢奸裁判の実証比較研究」
平成23年度～25年度	若手研究B「対日BC級戦犯裁判における台湾人戦犯の研究～中英仏豪の戦犯裁判を中心に」